

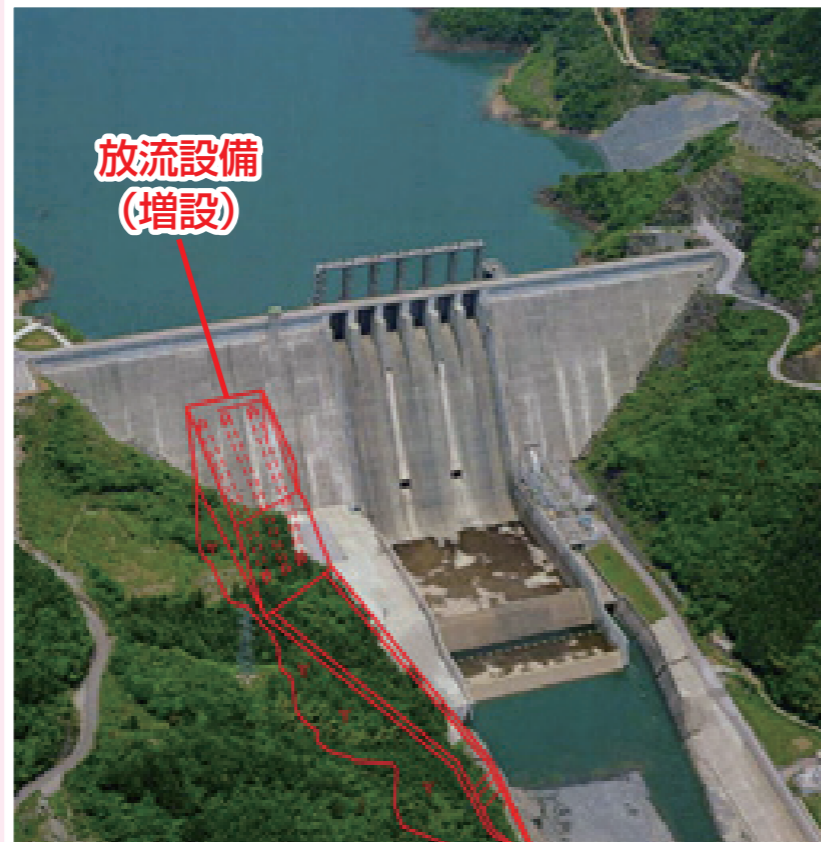
吉野川
水系

●池田総合管理所(徳島県)
水資源機構初のダム再生事業スタート!

平成30年3月30日付けで「早明浦ダム再生事業に関する事業実施計画」が国土交通大臣の認可を受けました。当機構では、この認可を受け、4月1日付けで池田総合管理所に「早明浦ダム再生事業推進室」を設置し、同計画に基づき早明浦ダム再生事業に着手いたしました。(予定工期：平成30年度から40年度まで)

本事業は、「四国のいのち」とも呼ばれる四国最大の早明浦ダムの改築を行うもので、貯水池の容量振替や予備放流方式の導入により洪水調節容量を増大させるとともに、洪水時の放流能力増強のため、放流設備の増設等を行うことにより、ダムの治水機能の向上を図ることを目的としています。また、河川改修等と一体的に実施されることにより、頻発する吉野川の氾濫による浸水被害防止・軽減を図り、沿川における安全・安心な社会の構築に重要な事業です。

※早明浦ダムは、吉野川の治水と四国4県の利水を目的に建設され、吉野川総合開発の中核となる多目的ダムで、昭和50年から水資源機構が管理しています。



木曾川
水系

●岩屋ダム管理所(岐阜県)
変身! 岩屋ダム ダムカード

平成29年度で管理開始から40年の節目を迎えた岩屋ダムでは、4月1日よりダムカードの図柄をVer.2.0としてリニューアルしました。昨年8月に一般公開した、ド迫力!の洪水吐ゲートの点検放流の写真を掲載しています。平日・土日祝祭日ともに午前8時30分から午後5時までの間に配布しておりますので、みなさんのコレクターズ・アイテムに是非加えてみられては?



渇水対策
支援

可搬式浄水装置を派遣

福岡県新宮町にある相島^{あいのしま}で、平成29年秋からの少雨により、水源が枯渇する恐れがありました。新宮町から可搬式浄水装置の派遣要請を受け、同装置と機構職員を派遣しました。新宮町と協働で2月18日から3月19日まで海水を淡水化し、渇水乗り越えました。



荒川
水系

●荒川ダム総合管理所(埼玉県)
漆黒の夜空に幻想的に
浮かび上がった浦山ダム

浦山ダムでは、4月6日(金)~7日(土)の2日間、ダムの下流部分を照らす照明設備の点検のため、ダム堤体のライトアップを実施しました。春の夜空に幻想的に浮かび上がる浦山ダムを本誌面でもご満喫していただきましょう。



豊川
水系

●豊川用水総合事業部(愛知県)

通水開始から半世紀!を記念して...
フォトコンテストを開催しています

昭和43(1968)年の通水開始から、東三河・静岡県湖西地域の飛躍的な発展を見届けてきた豊川用水は、本年6月に通水開始50周年を迎えます。これを記念し、用水の恩恵を再認識し、これら地域に親しみを持っていただける写真を募集します。たくさんのご応募をお待ちしております!

●写真のテーマ 「私と豊川用水」

(水源地域における作品、豊川用水施設を含んだ作品、豊川用水を利用している農業・水道等の作品、豊川用水にまつわる地域活動や豊川用水の恩恵を受けたものに関する作品など)

●応募締切 平成30年7月31日(火) (必着)

●賞 最優秀賞1点、優秀賞3点を選定します。

※最優秀賞受賞者は、平成30年9月下旬に実施予定の「豊川用水通水50周年記念式典」にて表彰を行います。

●応募方法 ホームページに添付されている応募票を撮影者氏名、連絡先、撮影概要を作品毎に作成の上、以下宛先まで電子メールにてご応募下さい。

●応募先 toyogawacanal50th@sala2.dti.ne.jp

その他応募要領の詳細な情報については、豊川用水総合事業部HPをご覧ください。

<http://www.water.go.jp/chubu/toyokawa/index.html>

筑後川
水系

日本ダムアワード2017にて 寺内ダム「ダム大賞」を受賞

平成29年12月17日(日)、東京・渋谷にて「日本ダムアワード2017」が開催されました。1年間のダムの活躍を振り返り、有志のダムファンから成る選考委員会により放流賞、低水管理賞、イベント賞、洪水調節賞の4部門にノミネートされた様々な角度から活躍したダムの中から、選考委員会、当日の観客の皆さんの投票によりもっとも印象に残る働きをしたダムを選出し、その功績を讃えようとするイベントです。

数ある賞の中で最も名誉な“2017ダム大賞”を受賞したのは、「洪水調節賞」部門にノミネートされた福岡県にある当機構が管理する寺内ダムで、平成30年2月10日(土)には寺内ダム管理所で授賞式が行われました。

授賞式では、ダムアワード選考委員会主催者の代表の方より、「平成29年7月の九州北部豪雨での寺内ダムの活躍は、防災インフラが被害を大きく低減させたものと認識でき、これからも流域を災害から守り、地域振興の中心となることを願っています。」との授賞経過報告がありました。続いて受賞者の寺内ダム管理所長から、「この度は、九州北部豪雨での寺内ダムの果たした役割に高い評価を頂き、ダムアワード2017で思いもかけぬダム大賞を頂き、ダム愛好家・ファンから成る選考委員の皆様へ深く感謝申し上げます。

当時の状況報告をさせていただきますと、今回の洪水対応では直前までの湯水により、ダム貯水位が低下していたことで容量に空きがあり、洪水・流木・土砂をダムに溜め込み下流

地域の被害を防いだことが、大きな治水効果を発揮できた要因の一つと捉えています。近年各地で豪雨が頻発している状況下において、これからも適切かつ確実なダム管理に関係機関と連携の強化に努めて参りたいと思います。洪水にて生じた大量の流木や管理施設の復旧作業などに対し、ご支援・ご協力を頂いた関係者皆様に対し感謝を申し上げます。

また、この受賞において評価いただいた洪水対応によって、ダム下流域の被害低減が図られました。一方で、ダム上流の水源地域では大きな災害を受けていることを思えば複雑な胸中です。豪雨に伴う災害の被災地の皆さまには心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。」との受賞者挨拶を行いました。

当日は冷たい雨の中、授賞式にお越しいただいた、ダム愛好家(炭素さん、星野夕陽さん)、ダムファンの方、地元放送局(NHK福岡、RKB毎日放送、KBC九州朝日放送)の取材陣のみなさまに、この誌面をお借りし改めて感謝を申し上げます。

独立行政法人水資源機構
朝倉総合事業所 寺内ダム管理所



Interview

寄附者対象特別施設見学会 全12施設コンプリート参加者インタビュー

昨年水資源機構では、公共事業を担う独立行政法人として初めて「寄附金事業」を実施し、ご寄附いただいた方を対象とした「特別施設見学会」等に関東管内12施設で延べ25回実施しました。

本号では、12施設すべての見学会に参加していただきました3名の方に特別インタビューをしましたのでご紹介します!



小鍛冶 実さん

お気に入り施設 ♥ 総合技術センター

新潟から参加しました。寄附を通して、書籍を見ては「いつかは…」と妄想していたダムを訪問するきっかけとなりました。水路施設の役割も知ることができました。水紀行パスポートの特典でおいしいグルメにも出会えました。どの水源地も地域と連携・協力して事業を進めていることが伝わってきました。特に草木ダムは、毎年移転された方に故郷に戻ってきてもらう活動をされているのが印象に残っています。寄附者特典の自分の名前が刻まれたプレートが設置されたら再訪問したいと思います!

柿沼 まゆみさん

お気に入り施設 ♥ 奈良俣ダム

特別施設見学会や名前が刻まれたプレートの設置といった寄附者特典に魅力を感じ寄附しました。見学会では、どの施設でも職員の方の説明が専門的かつ具体的で、知識の深さや仕事への熱い思いが印象に残っています。特に、房総導水路では施設の重要性を熱く語っていただき、とても勉強になりました。また、総合技術センターの各種実験や海外への技術指導の話がとても興味深かったです。学生の息子にも勉強になると思い、息子と一緒に参加させて頂きました!

柿沼 勇一さん

お気に入り施設 ♥ 下久保ダム

3年前からダム巡りを始めました。寄附者特典の名前入りプレートの設置が良い記念となると感じ寄附しました。どの見学会も特別感が満ちて、特に矢木沢ダムと利根川河口堰での船上体験は利根川を制覇したようで感動でした!参加すると押印してもらえる各施設のスタンプもデザインや色がすべて異なり、密かな楽しみでした。水源地ごとにドラマがあり、各施設に個性があり、それぞれに魅力を感じました。ダム等の建設のために、住んでいた故郷を離れた方がいらっしゃることや、維持管理のご苦労などを改めて感じさせられました。



見学会参加時に「水紀行パスポート」に押印されるオリジナルスタンプ



ありがとうございました

最後となりましたが、寄附金募集にご賛同いただき、ご寄附いただきました皆様、特別施設見学会へご参加いただきました皆様へお礼を申し上げます。

※「トピックス (P12-13)」にて「寄附金募集の実施報告」を掲載しています。